

平成24年度第1回認定事業者事例

いちご俱楽部株式会社
代表取締役 田内 伸子 氏
宮城県大崎市



いちご俱楽部（株）は、平成24年より宮城県大崎市鹿島台で、いちごの生産から販売、いちごを使用した「苺石鹼」の開発・販売に取り組んでいます。

栽培しているいちご「桃薰」（とうくん）は、ももやココナツ、カラメルのような香り成分が多く含まれているため、今までのいちごとは違った風味や食感が特徴の品種です。

現在開発中の「苺石鹼」は、桃薰の香りを生かした石鹼で、モニタリングやパッケージの検討を進め、商品化を目指しています。

また、これまでいちごはネット販売（楽天）だけでしたが、訪れていただいた方も購入できるよう店舗及びカフェを建設中であり、地元の野菜などを活かした軽食と併せて提供することとし、平成26年春頃までのオープンを目指し、準備を進めているとのことです。



いちご俱楽部株式会社

○所在地
宮城県大崎市鹿島台大迫字下志田650-1

○電話 0229-87-3250



農業生産法人
いちご俱楽部(株)

ホームページ <http://dear15.jp/>

認定事業計画の概要

- いちご俱楽部(株)は、平成18年に設立され、21年から長野県軽井沢町でいちご栽培を開始。平成24年より、大崎市に温室ハウスを建設、いちご「桃薰」を栽培開始。
- 軽井沢農場と、大崎市での「桃薰」の生産を安定させるとともに、規格外品を利用した「苺石鹼」の開発・販売をすることとしています。